

令和7年度

赤十字やまがた

赤十字は、 動いてる！

赤十字は、最前線に立つ人、それを背後で支える人、そして何よりも、
活動を寄付で支援してくださる人、関わるすべてのみなさん一人ひとりと動き続けています。
人間のいのちと健康、尊厳が守られる世界を信じて。これまでも。これからも、ずっと。



 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

TEAM
一緒に、救える。 **SAVE365**



活動資金にご協力ください

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

 日本赤十字社 山形県支部
Japanese Red Cross Society



日本赤十字社山形県支部
支部長 吉村 美栄子

会費ご協力のお願い

赤十字事業につきましては、日頃より県民の皆様から温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社では、「苦しんでいる人を救いたい」という思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命に基づき、国内災害救護活動、救急法等の普及、赤十字奉仕団の育成、青少年赤十字の育成、国際支援活動、血液事業など、多岐に渡る事業を展開しております。

昨年は1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」をはじめ台風や大雨など全国各地で自然災害が猛威を振るいました。当県でも、令和6年7月25日の未明から広範囲で降り続いた大雨により、庄内・最上地域では大雨特別警報が発令され、河川の氾濫による住家や田畑への土砂の流入、土砂崩れなどにより甚大な被害が発生しました。

当県支部では、直ちに災害対策本部を設置し情報収集を行ったほか、避難所での生活を余儀なくされた方々に対し、避難生活の中で抱えるストレス軽減等を目的に、こころのケア要員を派遣し、声掛けや血圧測定を行いながらの健康状態の確認・ハンドケア等のリラクゼーションを行いながら避難者に寄り添う活動を続けてまいりました。また、被災市町村へ毛布や緊急セット等の救援物資を搬送したほか、被災された方々の生活再建に役立ててもらうための義援金の受付を行いました。

私たちを取り巻く環境は、時代と共に急激に変化しておりますが、いかなる状況下においても人道・博愛の精神を掲げ、苦しんでいる人のいのちと健康を守る日本赤十字社の活動に対しましては、国民の皆様から大きな期待が寄せられております。

当県支部といたしましては、社会のニーズに合わせ、世界191の国と地域に広がる赤十字・赤新月社のネットワークを生かして、地域の皆様の期待に応えられる事業を実施してまいります。

赤十字の活動は、県民の皆様からご協力をいただいております会費や寄付金によって支えられております。今年度につきましても、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

赤十字会員制度について

区 分	ご協力金額	ご協力にあたっての要件
赤十字会員 (会 費)	年額2,000円以上	納入者単独の氏名、住所、納入日、納入額、赤十字からの情報提供の要否が明確である方
赤十字協力会員 (会 費)	年額2,000円未満	納入者単独の氏名、住所、納入日、納入額が明確である方
寄付者 (寄付金)	任意の金額	・町内会一括納入などで、納入者単独の判別ができない場合 ・匿名での納入の場合

山形県では、目安として年額700円以上でのご協力をお願いしています。

※日本赤十字社への会費等のご協力は、あくまでも任意となっており、強制するものではありません。
県民の皆様には、赤十字の趣旨を何卒ご理解のうえ、今後とも継続的な支援をお願いいたします。

活動資金(会費・寄付金)と災害義援金の違いについて

◇活動資金とは？

いのちと健康、尊厳を守るため、赤十字の活動を支援するお金



活動資金は災害救護等赤十字の様々な人道的活動に役立てられます。

◇災害義援金とは？

被災された方々へ、お悔やみや応援の気持ちを込めて贈るお金



日本赤十字社でお預かりした義援金は、義援金配分委員会及び被災自治体等を通して、**全額**被災された方々に届けられます。

税制上の優遇措置について

日本赤十字社に対する一定額以上の寄付金や会費のご協力には、税制上の優遇措置が適用されます。
詳細については、お近くの税務署や税務相談窓口、税理士または日本赤十字社山形県支部にご相談ください。

個人の場合	区分	所得控除 (特定寄付金)	住民税控除 (指定寄付金)	相続税非課税
	寄付内容	日本赤十字社にお寄せいただいた寄付等で、日本赤十字社の事業に充当されるものをいいます。	日本赤十字社各都道府県支部にお寄せいただいた寄付等で、総務大臣の指定（※1）を受けた事業に充当されるものをいいます。（※2）	相続または遺贈により財産を取得した方から、日本赤十字社にお寄せいただいた寄付金で、日本赤十字社の事業に充当されるものをいいます。
	措置の内容等	寄付等の全額（ただし、上限は寄付者の年間所得額の40%）から2千円を差し引いた額が、寄付者の年間所得総額から控除されます。	寄付等の全額（ただし、上限は寄付者の年間所得総額の30%）から2千円を差し引いた額の10%が、寄付者の住民税額から控除されます。	寄付した相続財産の価格は相続人が納めるべき相続税の課税価格に算入されません。
	期間	通 年		
法人の場合	区分	損金算入 (指定寄付金)	損金算入限度額 (特定公益増進法人に対する寄付)	
	寄付内容	日本赤十字社にお寄せいただいた寄付等で、財務大臣の指定（※2）を受けた事業に充当されるものをいいます。	日本赤十字社にお寄せいただいた寄付等で、日本赤十字社の事業に充当されるものをいいます。	
	措置の内容等	寄付の金額が、法人の寄付金損金算入限度額にかかわらず、損金の額に算入されます。	寄付等の金額が、法人の通常有する寄付金の損金算入限度額とは別枠で、特定公益増進法人に対する寄付金の損金算入限度額として認められます。	
	期間	毎年4月～9月		通 年

（※1）災害救護設備の整備など6つの事業が制度化されています。（※2）但し、支部の指定した事業計画の範囲が対象となります。

表彰制度について

赤十字活動資金へのご協力に対しては、日本赤十字社や国からの表彰制度がございます。

■国の表彰

- ◇紺綬褒章（個人500万円以上、法人1,000万円以上を納められた方）
- ◇厚生労働大臣感謝状（個人100万円以上、法人300万円以上を納められた方）※一時または同一年度内の累計

■日本赤十字社の表彰

- ◇日本赤十字社社長感謝状（金色有功章受章後、50万円以上を納められた都度）
- ◇金色有功章（50万円以上を納められた方）

（個人）



金色有功章章記



徽章



男章



女章

（法人）



金色有功章楯



徽章

◇銀色有功章

（20万円以上を納められた方）
（個人・法人）



銀色有功章楯



徽章

◇特別社員

（会費2,000円×10年または一括2万円を納められた方）



特別社員章

【セト門標の贈呈終了について】

金色有功章及び銀色有功章、特別社員の表彰に際し贈呈しておりましたセト門標は、製造業者の廃業により、令和6年度をもちまして贈呈を終了することといたしました。

既にお使いいただいているセト門標の破損等にかかる再製も終了となります。

ご了承くださいませようお願いいたします。



国内災害救護活動

1. 令和6年7月25日からの大雨災害への対応

7月25日未明からの大雨による災害に対し、直ちに救護体制に移行し、以下のとおり救護活動に努めました。

(1) 連絡調整員(リエゾン)の派遣

派遣先	派遣期間	活動内容	派遣者
山形県災害対策本部 (山形県庁)	第1回 7月25日～ 第9回 8月28日	情報収集及び関係機関との連携 山形県災害対策本部員会議への参加(計9回)	支部職員 延べ 10名

(2) 救援物資の搬送

搬送先	搬送日	救援物資		
		毛布	タオルケット	緊急セット
庄内町役場	7月26日	30枚	10枚	12個
舟形町役場	7月31日	30枚	40枚	12個



直ちに被災市町村へ救援物資を搬送した

(3) 赤十字ボランティアによる支援

奉仕団名	実施内容
酒田市赤十字奉仕団 戸沢村松坂赤十字奉仕団 酒田市本楯赤十字奉仕団 鮭川村赤十字奉仕団 金山羽羽場地区赤十字奉仕団	避難呼びかけと誘導、避難所運営協力、 高齢者世帯の安否・健康確認、 炊き出し支援、避難者への声かけ、 災害ボランティアへの熱中症予防、 健康観察の声かけ、義援金募集、 災害ボランティアセンターの受付業務及び 活動支援 など

※自治体からの要望等により、各奉仕団の活動内容は異なります。



災害ボランティアセンターにて
奉仕団員が受付業務を行った

(4) 赤十字こころのケア班の派遣

派遣先	派遣期間	派遣班			
酒田市	8月 1日～ 31日	計12班 ・こころのケア要員 27名 ・連絡調整員 11名	北村山公立病院	山形県立河北病院	米沢市立病院
遊佐町	8月22日～ 25日		公立置賜総合病院	鶴岡市立荘内病院	
戸沢村	8月13日～9月10日		仙台赤十字病院	石巻赤十字病院	秋田赤十字病院
			福島赤十字病院	山形県赤十字血液センター	



こころのケアとは、災害によるストレスを受けた全ての被災者を対象として、精神的なダメージ、心身の疲労、避難生活などから生ずると考えられるストレス状態の軽減を図り、援助者自身も自らのストレスに対応することを目的として実施する支援活動です。



被災状況を思い出して涙を流す避難者もあり
ケア要員は傾聴を通してストレス緩和を図った



避難生活の長期化で避難者の健康状態の
確認が重要となる



段ボールベッドに寝ている高齢避難者へ
ハンドケアをしながら傾聴を実施した

2. 災害救護活動用器材の整備

災害時に迅速に救護活動を実施するため、野外炊飯器、ワンタッチテントを各地区区分に配備しました。

野外炊飯器
配備先(2)

酒田市地区、金山町分区分

ワンタッチ
テント
配備先(5)

酒田市地区、天童市地区、
尾花沢市地区、舟形町分区分、
小国町分区分



各市町村の奉仕団委員長や職員の方々に事務局長より交付状を手交

3. 救援車の設置助成

災害時における地域住民の避難・救護活動、その他赤十字事業の推進を図るため、地区区分に対し、救援車の設置に係る経費を助成しました。

救援車助成先

南陽市地区



車いすも積載可能なマイクロバスの設置を助成

4. 赤十字防災セミナーの実施

地域や企業、赤十字奉仕団の要請を受け、支部職員を派遣し、非常災害時の炊き出し実習や防災・減災の知識について学ぶセミナーを行いました。
(15市町村で計41回実施)



災害への備えとして防災講話、非常食づくりのほか、緊急時の非常品持ち出しや避難所運営のシミュレーションをゲーム仕立てで体験するセミナーも実施した

5. 被災世帯への援護

火災等で住家が被災した世帯に対して、毛布・緊急セット等の救援物資及び見舞金を交付したほか、災害による死亡者弔慰金を贈呈して被災世帯の援護を図りました。

被災者総数…………… 502名(192世帯)

災害救援物資の配布

・毛布 149枚 ・緊急セット 62個 ・タオルケット 87枚 ・学用品セット 1個

災害見舞金の交付 (火災・大雨災害) …………… 2,190,000円

災害弔慰金の交付 …………… 140,000円



被災世帯へ配付される緊急セット

令和7年度の事業計画

- 災害救護対応力の強化
- 防災ボランティアの育成
- 地域コミュニティにおける防災教育の推進
- 地域包括ケアシステムへの貢献



救急法等講習の普及

1. 令和6年度の講習実施状況

各事業所、学校、サークル等からの開催希望に幅広く応じ、救急法等の講習会を実施しました。

講習名	実施回数	実施人数
救急法	333回	9,266名
水上安全法	41回	1,357名
雪上安全法	3回	24名
健康生活支援講習	3回	44名
幼児安全法	76回	1,238名
合 計	456回	11,929名



三角巾を用いた包帯の巻き方



水中での溺者の固定



雪上での傷病者の搬送

2. イベントを活用した救急法等の普及

一次救命処置の大切さを多くの県民の方に知っていただき、いのちの大切さについて広めていくために、商業施設や地域のイベント会場において、一次救命処置体験コーナーを設置しました。

(5市町で、計9回実施)



親子で人形を使った一次救命処置を体験

令和7年度の事業計画

- 赤十字救急法等の普及促進
- 救急法等指導員の養成
- 救急法等指導員の技術向上



赤十字奉仕団の育成

1. 赤十字ボランティア・リーダーシップ研修会の実施

赤十字奉仕団のリーダー的立場の方々に対し、赤十字の組織、役割、赤十字ボランティア・リーダーとして必要な知識等についてご理解いただき、赤十字ボランティアとしての意識の高揚を図ることを目的として研修会を開催しました。



避難所の運営を想定したゲーム(ひなんじょたいけん)の様子

2. 東日本大震災復興支援事業の実施

気仙沼市唐桑町大沢地区を訪問し、東根市蟹沢赤十字奉仕団と共に山形芋煮の振る舞いや耐熱性ポリ袋を使った蒸しパン作り等を行いながら、現地住民の方々と交流を図りました。



ポリ袋を使った蒸しパン作りを教える奉仕団員



地元住民と一緒に食事しながら交流

令和7年度の事業計画

- 赤十字奉仕団活動の推進
- 赤十字奉仕団支部指導講師の養成
- ボランティア・リーダーの養成
- 地域ニーズに即した奉仕団活動を支援するための助成
- 赤十字奉仕団主催地域イベントなどの共同開催
- 東日本大震災の復興支援

令和6年度の登録状況

種 類	団 数	団員数
地域奉仕団	33団	1,617名
特殊奉仕団	5団	222名
青年奉仕団	2団	123名
合 計	40団	1,962名



青少年赤十字の育成

1. 青少年赤十字リーダーシップ研修の実施

青少年赤十字活動におけるリーダーを養成するためのリーダーシップ研修を実施しました。参集のほか、広域からの参加を見込み、Web開催や参集とWebを組み合わせたハイブリッド形式で行いました。



第1回小・中学校リーダーシップ研修



高等学校リーダーシップ研修

2. 青少年赤十字防災教育プログラムを活用した防災教育出前授業の実施

青少年赤十字防災教育プログラムを活用し、防災・減災に繋がる出前授業を実施しました。座学のほか、段ボールベッドの組み立て体験や災害救援物資の紹介などを行い、防災意識の向上を図りました。

(4市で計4回実施)



防災教育の座学や災害救援物資等の紹介

令和7年度の事業計画

- 青少年赤十字加盟校活動の推進
- 防災教育プログラムの推進
- 国際交流事業の推進
- 青少年赤十字指導者の育成
- 青少年赤十字メンバーの育成

令和6年度の登録状況

種 類	加盟(園)校	メンバー数
幼稚園・保育園	21園	1,943名
小学校	86校	17,531名
中学校	47校	11,354名
高等学校	23校	1,819名
特別支援学校	2校	51名
合 計	179(園)校	32,698名

国際支援活動

1. 北海道・東北支部合同国際活動

北海道・東北ブロック支部合同事業として、ラオスにおける救急法普及支援事業、バヌアツにおける青少年赤十字海外支援事業、ルワンダにおける気候変動等レジリエンス強化事業及びアフガニスタンにおける気候変動対策事業へ資金支援を行いました。

2. 発展途上国への教育支援事業

令和7年度の支援に向けて、県高等学校青少年赤十字連絡協議会が中心となり、原資となる書き損じはがきの回収事業を行いました。

書き損じはがきの回収事業により整備した学用品を、インドネシア赤十字社を通してインドネシアのケブメン県及びマラン県の小学校へ贈呈しました。

贈呈式にWEBで参加し、現地の子供達からは「文房具をもらえて嬉しい」との声をいただきました。



WEBで行われた贈呈式の様子

3. NHK海外たすけあいキャンペーンの実施

頻発する自然災害や武力紛争への緊急救援活動や、途上国の赤十字社の支援のため、12月1日～25日まで実施した同キャンペーンの一環として、赤十字奉仕団員及び青少年赤十字メンバーから協力を得て、県内の商業施設などで街頭募金活動を実施しました。

(9市町、計10カ所で実施)

令和7年度の事業計画

- 国際救援活動の支援(第1ブロック支部(北海道・東北)合同事業)
- 国際教育支援事業の実施
- 救援事業のための募金活動



県内各地で多くの県民の方々からご協力をいただきました

広報活動

1. レッドライトアッププロジェクトの実施

5月の赤十字運動月間に、赤十字を広く国民に周知することを目的に全国各地の赤十字施設や歴史的建造物を赤十字のシンボルカラーである赤色に照らす「レッドライトアッププロジェクト」について、本県では旧米沢高等工業学校本館(米沢市)を会場に、5月2日～30日まで実施しました。



旧米沢高等工業学校本館

2. 体験型赤十字広報イベントの実施

県民の皆様から広く赤十字事業にご理解とご協力をいただくため、他団体のイベントに参加するなどして、赤十字広報イベントを実施し、ご来場の皆様から赤十字車両の展示や救急法などを実際に体験していただきました。



バイク奉仕団のバイクに乗って記念撮影



親子で心肺蘇生を学ぶ来場者

令和7年度の事業計画

- 広報誌等の発行、配布による情報の発信
- 支部ホームページ及びソーシャルメディアによる積極的な情報の発信
- メディア(テレビ、ラジオ、新聞)を活用した広報活動の展開
- レッドライトアッププロジェクトの推進
- 赤十字広報資材を活用した広報活動の実施
- 体験型赤十字広報イベントの推進
- 県内イベントへの参加による広報活動の展開
- 公式マスコットキャラクターを活用した広報活動の推進



血液事業

1. 献血者受入と医療機関への血液製剤の供給

献血バスの配車及び献血ルームSAKURAMBOでの献血の受入と、医療機関の要請に基づき血液製剤の供給を実施しました。

◇ 血液製剤供給実績 ※1単位=200mL ◇ 献血受入実績

・赤血球製剤 45,969単位	・200mL全血献血 679名
・血漿製剤 13,231単位	・400mL全血献血 25,592名
・血小板製剤 55,824単位	・成分献血 11,384名



県立寒河江高等学校文化祭で実施した「なりきり献血体験」(模擬採血)

2. 献血の普及・啓発

献血協力の拡充と、献血に関する理解促進を目的に、各種献血普及・啓発キャンペーン、学校・企業における献血セミナーを実施しました。

また、献血Web会員サービス「ラブラッド」への登録を勧奨し、「事前Web問診回答機能」の活用や献血の事前予約を推進しました。

令和7年度の事業計画

- 医療機関に対する血液製剤の安定供給の確立
- 需要に見合った適正かつ効率的な献血者数確保の推進
- 県民及び若年層に対する献血の普及・啓発
- 献血事前予約の推進及び献血Web会員サービスである「ラブラッド」の登録勧奨
- 輸血医療に関する調査・研究の推進

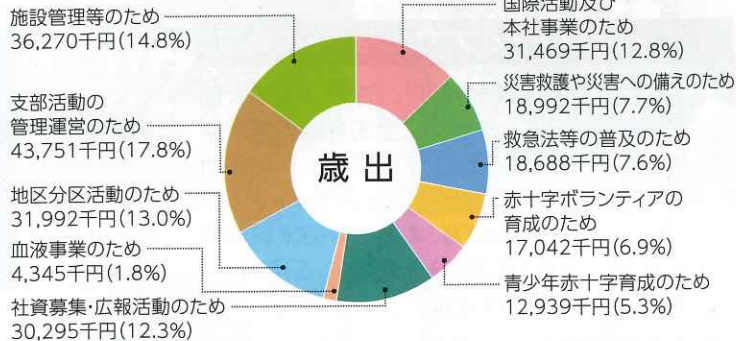
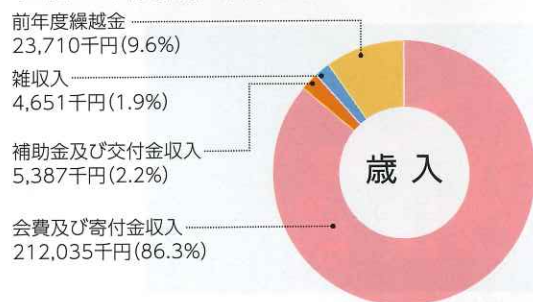


東北芸術工科大学「卒業／修了研究・制作展」で献血をテーマに研究した学生との献血トークショー



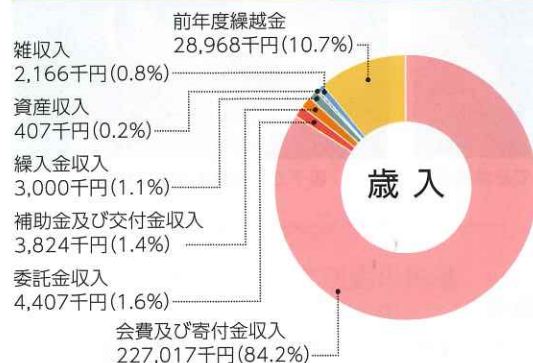
予算・決算

令和7年度歳入歳出予算／2億4,578万3千円

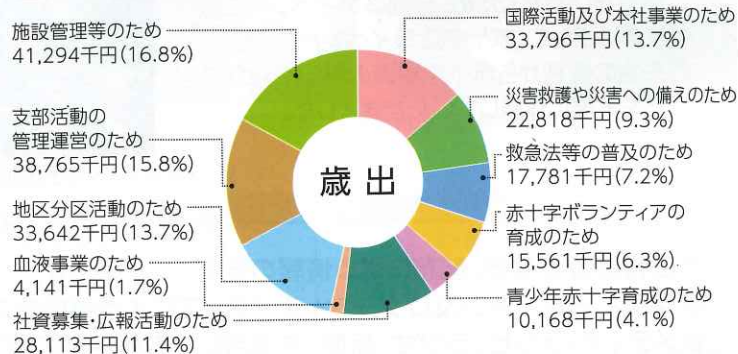


令和6年度歳入歳出決算(見込)

歳入／2億6,978万9千円



歳出／2億4,607万9千円



令和6年度決算では、「令和6年7月25日から的大雨災害義援金」を受け付けたことで歳入「災害義援金預り金収入」に、また、受け付けた義援金を山形県の配分委員会へ支出したことで歳出「災害救護や災害への備えのため」内に、それぞれ151,532千円を見込んでおります。



国内災害義援金・海外救援金の受付状況

■国内災害義援金（災害義援金は被災自治体を通じてその全額が被災者に届けられます。）

義援金名	件数	金額
令和6年能登半島地震災害義援金	710件(1,926件)	73,516,239円(212,425,318円)
令和6年7月25日からの大雨災害義援金	532件	187,920,006円
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	255件	2,511,795円
令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金	170件	223,784円
合計	1,667件(2,883件)	264,171,824円(403,080,903円)

■海外救援金（海外救援金は日本赤十字社本社を通じて被災者の支援に充てられます。）

救援金名	件数	金額
中東人道危機救援金	3件(91件)	1,412円(328,042円)
バングラデシュ南部避難民救援金	5件(122件)	7,304円(143,749円)
アフガニスタン人道危機救援金	2件(116件)	1,296円(131,182円)
ウクライナ人道危機救援金	109件(946件)	606,841円(34,387,364円)
イスラエル・ガザ人道危機救援金	44件(183件)	133,186円(536,827円)
2024年台湾東部沖地震救援金	318件	10,297,075円
レバノン人道危機救援金	105件	107,583円
海外救援金(無指定)	3件	10,536円
小計	589件(1,884件)	11,165,233円(45,942,358円)
令和6年度NHK海外たすけあいキャンペーン寄付金	257件	710,428円
合計	846件(2,141件)	11,875,661円(46,652,786円)

※国内災害義援金及び海外救援金の表の()内は、受付開始からの累計受付件数及び受付額

日本赤十字社山形県支部からのお知らせ



赤十字救急法等講習・赤十字防災セミナーのご案内

赤十字では、県民の皆様に、救急法等の知識及び技術を学んでいただくための「赤十字救急法等講習」や、自ら災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減し地域コミュニティにおける「自助」「共助」の力を高めるための「赤十字防災セミナー」を実施しております。いずれも、企業・自治会・町内会及び学校等の各種団体単位で開催できますので、ぜひお申し込みください！

また、支部主催講習については、個人のお申し込みも可能ですので、下表の二次元コードからお申し込みください！

赤十字救急法等講習

種類	内容	申し込み方法
救急法講習	心肺蘇生・AEDの使い方、気道異物除去、急病の手当けがの手当(止血・包帯・固定)、搬送など	【団体でお申し込みの方】 こちらから申込用紙をダウンロードしていただき、お申し込みください。 
水上安全法講習	水の事故防止、安全な水泳と自己保全 水の事故の救助と応急手当など着衣泳	
雪上安全法講習	雪上の安全、雪上での応急手当、赤十字スキーパトロールに必要な技術(スキーの基本・搬送技術)	【個人でお申し込みの方】 こちらから希望の日程・場所にお申し込みください 
健康生活支援講習	高齢者の健康と安全、自立した生活を続けるための生活の仕方や工夫、支援活動に必要な知識など	
幼児安全法講習	乳幼児の心肺蘇生・AEDの使い方、子どもに起こりやすい事故の予防と手当、子どもの病気と看病のしかたなど	



赤十字防災セミナー

内容	申し込み方法
地震や大雨に対する平時の備えの重要性を学ぶ「災害への備え」、地域の防災マップ作成を通じて防災上の資源・危険箇所等を把握し、防災対策につなげる「災害図上訓練」、避難所を想定したカードゲーム「ひなんじゃたいけん」、耐熱性ポリ袋を使用した「非常食づくり」など(その他、災害救援物資を展示し実際に触れていただくことも可能です)	こちらから申込用紙をダウンロードしていただきお申し込みください 

講習及びセミナーに関するお問い合わせはこちらまで

日本赤十字社山形県支部
事業推進課
TEL 023-641-1353
FAX 023-641-8861



赤十字寄付金付自動販売機の設置先募集

～自動販売機で社会貢献～

赤十字寄付金付自動販売機とは、自動販売機設置者様の収入の一部を赤十字活動(災害救護活動、救急法等の講習普及、赤十字ボランティアの育成と活動等)の資金としてご寄付いただくものです。

- 自動販売機の設置や売上金の回収、赤十字への振込等は業者に
おまかせでOK(電気代は設置者様で負担)
- 売上の一部を赤十字へ寄付することを販売機のパネルで表示

補充・保守管理等は
全て業者が実施!

自動販売機は省エネ
対策もバッチリです



赤十字寄付金付自動販売機を設置することで、設置者・購入者双方が気軽に社会貢献できるシステムです。

日本赤十字社山形県支部では、赤十字寄付金付自動販売機の設置先を募集しておりますので、社会貢献事業の一つとして、ぜひご検討いただき、気軽にお問い合わせください。



遺贈・相続財産等の赤十字への寄付をお願いします

近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出を多くいただいております。

日本赤十字社山形県支部では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈寄付、相続財産等のご寄付を承っております。

遺贈とは

遺言によって財産の全部または一部を団体などの第三者に与えることを「遺贈」といいます。

災害時に、
日本赤十字社に
助けられました

赤十字病院や輸血で
お世話になった

相続財産寄付とは

相続により取得した財産の全部または一部を寄付することを「相続財産寄付」といいます。

故人の思いと
誇りを寄付しました

故人の供養になればと
承けて寄付しました



◇「遺贈寄付」の場合

日本赤十字社に遺贈した財産は、相続税の課税対象になりません。

地域に根差した赤十字活動を展開する支部を遺贈先とすることで、「ゆかりの地に恩返しをしたい」「大切な故郷を赤十字活動への支援を通じて支えたい」といった思いを叶えることができます。

◇「相続財産寄付」の場合

ご遺族の方が相続された財産を相続税の申告期限内(相続開始があったことを知った日の翌日から10ヵ月以内)に日本赤十字社に寄付した場合、寄付した財産には相続税がかかりません。

故人の思いを尊重し、ご遺族の方が相続により取得した財産の全部または一部を日本赤十字社へ寄付することで、国内外で災害、病気、紛争等で苦しむ人々のいのちを守る活動に広く役立てることが出来ます。

◇「香典返し」の寄付の場合

香典返しをする代わりに、「故人の遺志を社会のために活かしたい」というご遺族が増えています。

香典返しをご寄付いただいた場合は、亡くなられた方のご芳名で表彰することができます。

日本赤十字社山形県支部への遺贈・相続財産寄付をお考えの際は、支部担当窓口(Tel 023-641-1353・組織振興課)または県内の弁護士、司法書士、税理士、行政書士、金融機関(地方銀行、信金、信組)へご相談ください。

※不動産についてはお取り扱いできませんのでご了承ください。

支部ホームページ及びソーシャルメディアによる情報発信

災害救護をはじめとする支部の取り組みや県内赤十字関係者の活動について、支部ホームページに加えて、若年層を中心としたソーシャルメディア利用者にも情報発信していくことを目的に支部専用ソーシャルメディアアカウントを開設し、積極的に情報を発信しております。

※アカウントをお持ちの方は、ぜひご登録をお願いいたします。

X(旧ツイッター)



Instagram



わたしたちも赤十字を支援しています



株式会社でん六 山形市清住町3丁目2-45 ☎023-644-4422



安心と信頼の絆で、
未来に寄り添う。
くらしの保障、相談するなら



※ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。
どなたでもご相談いただけます。
■JA共済ホームページアドレス: <https://www.ja-kyosai.or.jp>
24481050044



配電制御システムのリーディングカンパニー

株式会社 **かわでん**

「電気に生きる—電気とともに発展する社会と共生し、人々の暮らしに貢献する」

本社・山形工場 〒999-2293 山形県南陽市小岩沢225番地
TEL0238-49-2011 FAX0238-50-0234 <http://www.kawaden.co.jp/>



店舗デザイン設計/施工 文化施設 看板 イベント設営/運営

山形市富神台28番地 TEL.023-644-1661 <https://www.yamashin-kenso.co.jp>



〒997-8611 山形県鶴岡市本町一丁目9番7号
電話:0235-22-5211(代表)

お客様に安心と豊かさを提供し 地域の健康元気を応援します



山形市あこや町三丁目8番9号 TEL 023-631-2211



マルナカ MARUNAKA

中村商店

since 1913

食品原材料卸売

山形市大字漆山字二ツ段 2113-2
tel:023-686-6755
fax:023-686-6762 marunaka-n.co.jp



大切なもの、人、夢、自然…。



升川建設

本 社 河北町谷地甲 1083 ☎(0237)73-2233
山形本店 山形市馬見ヶ崎1丁目2-29 ☎(023)681-3944



企業繁栄のパートナー

有限会社 **佐藤税務会計事務所**

税理士: 佐藤 登美子 佐藤 卓磨

山形市松栄1-5-58
Tel:023-644-7535

事務所
ホームページは
こちら▶



自然にやさしく環境を大切にしています
株式会社 鈴木工務店

代表取締役 鈴木 謙

鶴岡市布目字宮田163番地4
TEL 0235-28-2758



株式会社 リプライ

〒991-0041 山形県寒河江市石田4 4
TEL 0237-86-9171

<https://reply-net.com/>



県内4つの

SHINKIN 信用金庫



山形信用金庫



米沢信用金庫



鶴岡信用金庫



新庄信用金庫



株式会社

山形ミートランド

山形県寒河江市中央工業団地 155-12
TEL.0237-83-0329



観る
味わう
憩う
感動の旅を
あなたと共に…

山新観光株式会社 本社/〒990-0047 山形市旅籠町二丁目5-12 山形メディアタワー
旅行業公正取引 監修 委員会 <http://www.travel-ysk.co.jp>

大切なお客様のおもてなしに…



清流 庭園 山菜料理
<http://www.sansai-tamaki.com>
TEL0237-74-2364

〒990-0702 山形県西村山郡西川町間沢 80-1

わたしたちも赤十字を支援しています



人にやさしく、自然を大切に
本社/〒990-8558 山形市穂積 85 TEL:023-631-1331



夢を追いかける
You Can Chase your dreams.
本社/山形市松波4-5-12 TEL.023-641-4667 <https://www.yamagata-ycc.co.jp>

Panasonic

山形パナソニック

山形市平清水一丁目1番75号 代表取締役会長 清野 伸昭
山形本社・東北支店・酒田・鶴岡・米沢・新庄 代表取締役社長 清野 寿啓
y-panasonic.co.jp

ージェネリック医薬品を通じて皆様に貢献するー
日新製薬株式会社 **日新薬品株式会社**

〒994-0069 山形県天童市清池東二丁目3番1号 〒994-0001 山形県天童市万代3番6-2号
TEL 023(655)2131 FAX 023(655)2975 TEL 023(658)6116 FAX 023(658)6118



米沢 味・技・心のコミュニティパーク

上杉城史苑

TEL0238-23-0700
米沢市丸ノ内1丁目1-22
<http://uesugijoshien.jp>

純米酒 **東光** 醸造元
とうこう

安土桃山時代1597年創業
米澤藩上杉家 御用酒屋 株式会社小嶋総本店
米沢市本町2丁目2-3 TEL 0238-23-4848



電気機器を通じて、省エネ社会を目指す

高島電機株式会社

代表取締役/設 楽 栄 次

本社：990-2251 山形市立谷川1丁目1059-6
TEL023-686-5522 (代) FAX023-686-5649



萬屋薬局

山形市六日町2-3 ☎023-623-1805



食の世界を担っていく

日東ベスト株式会社

山形県寒河江市幸町4番27号
TEL 0237-86-2100
<https://www.nittobest.co.jp/>



確かな技術で未来をつくる。

ふるさと白鷹と
共に半世紀

株式会社 鈴木工務店

代表取締役/鈴 木 洋

本社・工場/白鷹町大字鮎貝5783 TEL0238-85-5191代 FAX0238-85-5809

白鷹生コン工場 TEL0238-85-5586 FAX0238-85-5622

人と自然にやさしい“ほほえみの宿”



天童市鎌田本町 1-1-30
tel.023-654-2211
<https://www.yahoo.co.jp>



事業所弁当・幼稚園弁当・仕出し料理・社員食堂



株式会社

協栄給食

<http://kyoei-lunch.co.jp/>

〒994-0057 山形県天童市石鳥居二丁目1-23 TEL 023-674-7272

再生可能エネルギーとバイオガス発電システムで未来を拓く

天童環境株式会社

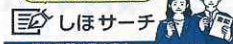
代表取締役社長 片 桐 健 悦

天童市石鳥居二丁目2番50号 ☎023-658-4141代



山形県司法書士会

任せて安心。すぐに繋がる



相続登記は司法書士



相続登記・遺言についてのご相談は司法書士へ
相続登記相談センター 0120-13-7832

コマツ・コーポレーション

株式会社 小松写真印刷

本社 | 山形県酒田市京田2-59-3 〒998-0102
tel.0234-41-0011 fax.0234-41-0015

仙台支店 | 秋田支店 | 鶴岡支店 | 新潟営業所 | 東京事務所

「考える」をやめない。



www.komatsu-corp.co.jp

ご協力をお願いします

Let's 献血



献血はアプリが便利!
ダウンロードはアプリストアまたはwebから

ラブラッド

検索

日本赤十字社 山形県赤十字血液センター

★献血予約で待ち時間短縮!
★事前問診でスムーズに!
★検査結果もアプリで確認!
★ポイントで記念品ゲット!



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

山形県支部

〒990-0023 山形市松波一丁目18番10号

TEL:023-641-1353 FAX:023-641-8861 <https://www.jrc.or.jp/chapter/yamagata/>

この広報誌は令和7年3月作成のため、決算などの確定数値については6月以降のホームページをご覧ください。
(各数値は特に断りのない場合、令和7年2月末時点となります)